

## 令和6年度 安来市立荒島小学校 研究の構想

## 1 研究主題

主体的に取り組み、自分の思いを進んで表現しようとする子どもの育成

～算数科を通して～

## 2 主題設定の理由

## (1) 今日の課題から

今後の日本社会は、さらにグローバル化や情報化が進み、様々な価値観をもった人々と尊重し合いながら生きていくことが不可欠となる。科学技術の発展や社会・経済の急激な変化の中で人としての幸せと社会の発展の調和的な実現を図ることは一層重要な課題となってくるであろう。従来通りの考え方や方法が適用しなくなったときにでも、自分で考え判断し、行動できる社会人を育成することが期待されている。そこで、教師の指示を受けて学習を進めるスタイルばかりではなく、自分たちで課題を見つけ協働で解決することを通して知識や技能を獲得していこうとする、より主体的な学習が求められている。

新学習指導要領において育成すべき資質・能力は、

- ・生きて働く知識・技能の習得
- ・未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成
- ・学びを人生や社会に生かすとする学びに向かう力・人間性の汎養

とされている。

算数科では、ただ問題を解くだけではなく、問題に出会ったときに数学的な見方や考え方を働かせ“何をどのように捉え、解決するためにどうしたらよいか”を考えることが大切である。数学的活動を通して解決に向かい、そこで分かったことは他の問題にも応用できることに気づくことがより学びを生かすことであると考え。そのためには、児童一人一人が自分なりの考えをもち、互いの考えをしっかりと受け止め、よりよい解決策を見出していくことが求められる。

## (2) 児童の実態から

本校は、児童数161名の中規模校である。明るく素直で、落ち着いた態度で学習することができる。縦割り班活動では、上学年が下学年に優しくかかわっており、掃除などの活動に真面目に取り組んでいる児童が多い。

学習面では、活動への手がかりがつかめ、その時間の見通しをもつことができれば、集中して意欲をもって取り組むことができる。また、漢字・計算大会など全校一斉の活動に向けて練習を重ね、努力する姿も見られる。一方で、学力調査では、自分の考えを筋道立てて書いてまとめたり説明したりすることが課題として挙げられた。また、全体の場で自分の考えを述べることや、他者の多様な考えに触れ自分の考えと比べながらより深く考えることが難しい児童も多くいる現状にある。

### 3 研究主題の受けとめ

#### ○主体的に取り組む

- ・受け身（やらされている感）ではなく、「やってみよう」「考えてみよう」と思って取り組む。
- ・学ぶことの楽しさが実感できる。
- ・友だちの考えを傾聴し、自分の考えに生かそうとする。

#### ○自分の思いを進んで表現しようとする。

- ・与えられた考え方や方法を用いて表現するだけでなく、今までの蓄積された経験から、自分なりの表現方法で表現する。
- ・根拠を明らかにしながら、自分なりの考えをもつ。

### 4 研究目標

- 個々の活動意欲を喚起し、協働で課題を解決しようとするには、どのような課題を設定すればよいか、その要件を明らかにする。
- 課題解決のために見通しをもち、自分の考えを自分が分かりやすい方法で表現しようとするには、どのような支援を行えばよいか、その要件を明らかにする。
- 互いの考えのよさに気づき、協同的によりよい解決へ向かうためには、どのような伝え合いの場を工夫すればよいか、その要件を明らかにする。

### 5 研究仮説

子どもと問題との出会いを工夫し、子ども一人一人が考えを表現する活動や伝え合う活動を工夫すれば、主体的に取り組む、自分の思いを進んで表現しようとするのではないか。

### 6 研究内容

- 「子どもと問題との出会いを工夫」
  - ・解決したいと思う問題や課題、その思いを引き出したり強化したりする出会いをどのようにするのか。【導入から個人思考前まで】
- 「一人一人が考えを表現する場の工夫」
  - ・問題の解き方やその結果を自分の表したい方法（図や式、表、言葉など）で書き表したり操作したり、話したりする活動における支援はどうあるべきか。【個人思考】
- 「一人一人の考えを生かした伝え合う活動の工夫」
  - ・互いの考え（解き方やその結果など）を表現し、それに対する疑問などを伝え合いながら、互いの良さや問題点、関連、有効性について明らかにしていくための支援をどう工夫するか。【集団思考】
- 縦の一貫性をもった実践
  - ・全体計画、年間指導計画の作成と共通理解を図る。

- ・学習環境の整備（支援グッズ、教室環境、掲示等）
- ・授業とつながりのある家庭学習の工夫

## 7 具体仮説

### 具体仮説①

単元や1時間の流れをふまえた問題との出会いを工夫し、解決表現したくなるようなめあてを設定すれば、子どもは意欲的に考えを表現しようとするであろう。

### 具体仮説②

子どもが自分の考えを自分なりの表現方法で表現することができるようにすれば、子どもは意欲的に考えを表現し、友達の考えへの関心も高まるであろう。

### 具体仮説③

多様な考えや表現を取り上げるなどして、互いの考えを伝え合う活動を工夫すれば、子どもは意欲的に考え、自分の考えを広げたりより深めたりすることができるであろう。

### 【具体仮説①について】

単元や1時間の流れをふまえた問題との出会いを工夫し、解決表現したくなるようなめあてを設定すれば、子どもは意欲的に考えを表現しようとするであろう。

手立て1	解決に向けた意欲を引き出し、多様な解法がある問題の設定	→自分なりの表現方法をすることで自分の分かりやすい（お気に入り・おすすめ）の解法へつながる
手立て2	問題や課題についてのイメージ等の交流	→状況把握、生活との結びつき
手立て3	結果予想の違いの顕在化	→問いの発生
手立て4	解決への意欲や見通しを生かした展開	→「どう考えたらよさそうか」子どもの声からめあてへ
手立て5	単元の流れに沿った課題設定	→授業の見通しの明確化 →単元を通して自分の考えを高める（第1時の考えを広げる）

教師は教える・子どもは教えてもらう授業ではなく、子どもが学びとる授業へ

子どもたちにも習うではなく学ぶ意識を！（学ぶ・・・何かに気づき、自分が変わること）

### 【具体仮説②について】

子どもが自分の考えを自分なりの表現方法で表現することができるようにすれば、子どもは意欲的に考えを表現し、友達の考えへの関心も高まるであろう。

手立て1	学習の足跡の掲示	→第1時では、表現できなかった子どもがお気に入り の表現に出会い、単元が進むにつれて表現しようとする。 →友だちの表現に出会い、自分の表現を深めたり 広げたりする。
手立て2	自分で見通しをもって考え、自分なりの 表現方法で表現（ノート・ワークシ ート）	→図・式・言葉で表現するよさ ☆表現したい内容は何か？（根拠にしているこ とは何か） ☆学年で求めていく表現は？（発達段階とのつ ながり） ☆子どもの表現の現状は？ ①書く量、言葉や文字の使い方 ②書く内容・・・論理的、根拠が明確
手立て3	多様な考えや表現の奨励	→いろいろな場面で（授業の中で、学習の足跡 の提示で・・・言葉で、提示で） ☆授業者が子どもの考え「3つ」予想しておく ①表現方法から3つ ②表現内容から3つ
手立て4	表現の仕方についての支援	☆考えが止まっている子は、なぜ止まっている のか その子がどう考えているのか聞き取る、受け止 める 考えは見えているが「書けない」のか ※図（絵）が有効に働く

※低学年の時から、問題を図で表す習慣をつけていきたい

【具体仮説③について】

多様な考えや表現を取り上げるなどして、互いの考えを伝え合う活動を工夫すれば、子どもは意欲的に考え、自分の考えを広げたりより深めたりすることができるであろう。

手立て1	異なる表現様式で表現された多様な考えを 取り上げる	☆取り上げ方 子どもの言葉をのせていけるように
手立て2	それぞれの考えの妥当性を検討後、関連性 や有効性を検討する	→取り上げる考えを選択 ☆子どもが何をどのように考えているのか 明確に（本人の考えが違う考えにすり替わ っていないか、教師の思った考えに誘導し ていないか）
手立て3	疑問や質問を中心に考えを交流する	→見える化する（5年授業のように） ☆「おたずね」「ほめほめ」を取り入れる 素朴な疑問が言える、友だち考えのよさに

※時間の確保（重点単元の設定と他単元とのバランス→→年間指導計画の見直し）

「おたずね」・・・発言者に対して行う行為。たずねられた発言者が回答し、おたずねした人や全体へと子ども同士の対話生まれる。

「ほめほめ」・・・発言者の説明内容のよさを子どもが評価することにより、自信と意欲向上につながる。さらに、授業者による「ほめほめ」に対する価値付けにより学級全体の意欲向上と人権教育につなげる。

この2つの対話のやりとりにより、子どもたちが子ども達同士で広げ深めていく主体的な授業を目指す。

仮説に基づき、授業を組み立てる手順と留意点を下記のように考えた。

ねらい

導入

展開

- ①単元を通して、児童にどのような力を身に付けさせたいのか、何ができるようにしたいのか、どのような見方・考え方をつかうのかを明確にする。
- ②問題を提示した後、子ども達から「おたずね」により、気づきやつぶやきを交流させながら問いを発生させる。そこからめあてを設定しその解決に向けてイメージを持たせる。（⇒そうすることで、「解決したい。」「できそうだ。」と思える課題となり、主体的に考えることにつながる。）
- ③児童が一人でしっかり考える時間を確保。児童が問題を自分なりの図で表し、そこから言葉や式、表などを使って表現でいる活動を設定する。  
 ※問題解決に必要なもの（ノート・ブロック・グラフ用紙・ワークシート・発表ボード）を準備する。ICT 機器を効果的に使用する。  
 ※机間指導をしながら児童の学びの様子を把握し、困り感を見取る。子どもの思いをひきだす声かけをする。TT での授業は、役割分担し連携して行う。
- ④自分の考えをペアやグループなど少人数で伝え合う場では目的をはっきりさせる。

- ・自分の考えと友だちの考えを比べる
- ・間違いに気づく
- ・あいまいなところをはっきりさせる
- ・筋道立てて説明できるようにする
- ・友だちの考えのよさを見つける
- ・アドバイスする
- ・友だちと一緒に考えを出し合うことで問題解決の糸口をつかむ

⑤全体場で話し合い課題解決に向かう。

※児童が出すであろう予想される考えを捉えておき、どのような順番で全体に引き出し、生かしていくことができるか考えておく。

※「おたずね」「ほめほめ」を手がかりに

※不十分な考えや誤答を大切に、児童の多様な考えや疑問、つまづきなどを取り上げることで理解を深めることができるようにする。

※ICT 機器を効果的に使用し、それぞれの児童の算数的活動の取組の様子や考えが全体に伝わるようにする。

※それぞれの考えの妥当性を検討し、問題との関連性や有効性を確かめる。

⑥学習したことや新たな疑問などについて児童の発言を生かしながら言葉でまとめる。類題を解く。

⑦学習の振り返りは、その時間に身に付けたい力をもとに視点（内容に関わるもの・コミュニケーションに関わるもの・新たな疑問・難しかったところなど）を示し、家庭学習や次時につながるよう工夫する。

## 重点单元における「授業づくりシート」を活用しましょう

### 8 全体構想図

#### 社会的背景

- ・生きて働く知識・技能の習得
- ・思考力判断力・表現力
- ・学びに向かう人間性等の汎養

#### 学校教育目標

「あかるく」「げんきに」「なかよく」を  
大切にする荒島っ子の育成

#### 児童の実態

- ・明るく素直
- ・落ち着いて学習に取り組む
- ・粘り強く取り組みより、深く考えることが苦手

#### めざす子ども像

(知)「あかるく」

あいさつや返事を笑顔でできる子 学ぶ楽しさを知り、自分の言葉で表現しようとする子

(体)「げんきに」

規則正しい生活習慣をしようとする子 汗を流す喜びを知り、一生懸命取り組もうとする子

(体)「なかよく」

言葉遣いを意識すると共に、「ありがとう」と素直に言える子

友だちの人権を尊重し、その考えをしっかりと聴こうとする子

#### 研究主題

主体的に取り組む、自分の思いを進んで表現しようとする子どもの育成

～算数科を通して～

研究仮説

子どもと問題との出会いを工夫し、子ども一人一人が考えを表現する活動や伝え合う活動を工夫すれば、主体的に取り組み、自分の思いを進んで表現しようとするのではないか。

手立て

【子どもと問題との出会いを工夫】	【一人一人が考え表現する場の工夫】	【一人一人の考えを生かした伝えあう活動の工夫】
<ul style="list-style-type: none"><li>・多様な解法のある問題の設定</li><li>・問題に対してのイメージの交流</li><li>・結果と予想の違いの顕在化</li><li>・子どもの解決への意欲や見通しを生かした展開</li><li>・単元の流れに沿った課題の設定</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学習の足跡の掲示</li><li>・自分で見通しをもって考え、自分なりの図等で表現</li><li>・多様な考えや表現様式の奨励</li><li>・表現の仕方についての支援</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・異なる様式で表現された多様な考えを取り上げる。</li><li>・それぞれの考えの妥当性を検討後、関連性や有効性を検討する。</li><li>・疑問や質問を中心に考えを広げる。</li></ul>
<p>【算数の基礎基本の定着を図るための工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・月1回の全校計算大会の実施 ・家庭との連携（家庭学習・自学）・指導形態の工夫（TT・少人数指導）</li><li>・教室環境（掲示物や支援グッズ）・算数コーナー（校長室からの挑戦状など）</li></ul>		

学級経営

集団づくり

種